総合政策課長 鹿毛 晃之

① 重点施策項目名	公共施設マネジメントを行います
② 目標値	市庁舎整備基本計画策定進捗率 平成29年度当初 0%⇒平成29年度末 100%
③ 今年度の取組 方針	平成29年1月に策定した「鳥栖市庁舎整備の基本的考え方」に基づき、新庁舎建設の場所、配置、構造、事業手法や庁舎に取り入れる機能等について、市民、有識者による検討委員会を組織し、検討委員会の意見等を踏まえた市庁舎整備基本計画の策定を目指します。
④上半期の 取組内容	市民、各種団体の代表者等8名で組織する「市庁舎整備基本計画策定委員会」を立ち上げ、6月(第1回)、8月(第2回)に委員会を開催しました。 委員会では、現状と課題を整理し、市民アンケートの実施及びその結果を踏まえた建設候補地等の検討を行いました。 また、庁内検討部会による先進事例調査等を行うことで、求められる庁舎機能の検討など今後必要な設計業務等を踏まえた準備作業も合わせて進めています。
⑤下半期の 取組内容	
⑥数値目標の結果	
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	

/\ \ \ \ \	- 225 7	7.17 E	σ	
ヘノガ	l 'El' ī	文】(LE	・レノ・	指示

1.)	1/2 11/ 11
	ᅳᅫ
	1 771

年内の基本計画素案策定に向け取組むとともに、具体的な事案も同時並行して整理していくこと。

下半期	

総合政策課長 鹿毛 晃之

① 重点施策項目名	地域特性を活かした魅力ある拠点の形成を図ります
② 目標値	新鳥栖駅利用者数/日
	平成29年度当初(推計)3,262人⇒平成29年度末3,602人
	1/// = 1 30 1/4 (322) 1/4 1
③ 今年度の取組	九州国際重粒子線がん治療センターを誘致した地元自治体の役割とし
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
方針	て、事業推進、資金収集活動、PR活動を積極的に行っていきます。
④上半期の	事業推進については、会議等への出席を通して、それぞれ関係団体の
取組内容	情報共有等を図りました。
	資金収集活動については、機会を捉えて市長によるトップセールスを
	行いました。
	PR活動については、「まつり鳥栖」パレード隊に参加し、施設及び治
	療方法等についてPRを行いました。
⑤下半期の	
取組内容	
6数値目標の結果	
少	
⑦成果と課題	
(次年度に向けて)	

◇所管	ᆂᇚᆖ	~ [.[~
/ \ nb /=>	MIC F. 7	/\T\ -

上半期

今後も、佐賀国際重粒子線がん治療財団との連携を図り、事業推進等を図ること。

	•
下半期	- 1
	- 3
	- 3
	- 1
	- 1
	- 3
	:

総合政策課長 鹿毛 晃之

① 重点施策項目名	地域間交流・広域連携の取り組みを進めます
② 目標値	広域連携事業数 平成29年度当初10事業⇒平成29年度末11事業
③ 今年度の取組 方針	筑後川流域クロスロード協議会、グランドクロス広域連携協議会を中心として現在実施している事業の確実な実施と住民サービスの向上につながるような新たな事業の検討を行います。
④上半期の 取組内容	筑後川流域クロスロード協議会は、7月28日に本市で総会を開催しました。総会において、地域ビジョンに基づき域内の交流・活性化につながる具体的取り組みの検証および事業推進を確認しました。本市が担当する文化イベント情報発信事業について、8月25日にグループ会議を開催し、ロゴの決定、フェイスブックによる情報発信のためのガイドラインの検討を行いました。今後は、整備でき次第運用を開始することとしています。 グランドクロス広域連携協議会は、7月7日の幹事会において、部会の取り組みの推進を確認するとともに、今後、一部部会の在り方の検討を行うこととしました。
⑤下半期の 取組内容	
⑥数値目標の結果	
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	

$/ \setminus m$	→ / ////	<u> </u>	Ħ.		15	
\/ <i>[</i>]	T管	ᄪ	灭	V)	1日	ハハ

上半期

今後も、筑後川流域クロスロード協議会及びグランドクロス広域連携協議会との連携を推進すること。

	下半期
į	
1	
i	
- 1	

総合政策課長 鹿毛 晃之

① 重点施策項目名	土地利用構想を策定します
② 目標値	土地利用構想策定進捗率
	平成29年度当初0%⇒平成29年度末100%
③ 今年度の取組	新たな雇用創出のための企業誘致の推進や移住・定住者の増加につな
方針	がる住宅政策を進める新たな拠点形成のための土地利用構想を策定しま
7321	す。
	7 0
4)上半期の	
	関連事業にめる都印計画マグターノノン泉足業務(まらつくり推進 課)、将来道路網検討業務(建設課)、県担当課との連携を図りながら、
取組内容	
	現況調査並びに需要調査等の策定作業を進めています。
	また、国道(佐賀国道事務所)及び県道(道路課、都市整備課)、コン
	サルを交えた会議を5月と9月に開催し、道路網検討作業に必要な土地
	利用構想策定に伴う交通量推計等についての協議を行いました。
⑤下半期の	
取組内容	
⑥数値目標の結果	
⑦成果と課題	
(次年度に向けて)	
(外十段に叫りて)	

\sim		**	40	=	-	指	_
/ \	∖⊓⊬	7	771	=-	(I)	T-	-
\ /	$^{\prime}$ $^{\prime}$ $^{\prime}$ $^{\prime}$	브	→ 1)	$\neg \nabla$	v	10/	'IN

1	1	1.	田
_	=	ᆮ	共州

構想策定作業のスピードを速め、公表できる内容の素案作成を急ぐこと。

下半期	